

## 第2回定例会 平成21年度補正予算

### 新型インフルエンザ

### 被害対策に大きな実績

### 高齢者・しよがいがい者施設の 損失補償を実現!

国の約15兆円に及ぶ補正予算を受け、6月11日から平成21年度第2回定例会が開催されました。公明党からは大澤和士議員(垂水区)が代表質疑に立ち、新型インフルエンザの被害対策で、高齢者・しよがいがい者施設の損失補償などを実現。また福祉、教育、医療分野で国の補正を活用した市民生活の充実を図るなど大きな実績を勝ち取ることができました。

### 市が立て替えて 速やかに損失を補償!

5月16日、神戸市内で新型インフルエンザの発生が確認され、直ちに神戸市は感染拡大を防止するため学校園をはじめ高齢者、しよがいがい者施設のデイサービス、ショートステイなどの休止を要請しました。

その結果、大規模な感染拡大は防ぐことができましたが、約1週間の休業によりこれらの福祉施設は約4億円の損失を被ることになりました。

大澤議員はこの事態をとりまいて、今回の休業が市や国の要請に基づくものであることから、行政が損失を補償すべきであること、また今後の発生に備え損失補償制度を新たに設けるべきであると矢田市長に質疑しました。

これに対し矢田市長は、「国と協議中であるが、いつまでも待たせるわけにはいかない。独立行政法人福祉医療機構の経営資金貸付金から神戸市が資金を借り、各施設には市が立て替えてお支払いしたい」と思いついた答弁を引き出すことができました。

### スピーディーな 対策要望活動を展開



矢田市長から要望書を受け取る赤羽、赤松衆議院議員

### 発生後直ちに国に支援を要請!

公明党神戸市議員団は、新型インフルエンザの発生が確認された5月16日、直ちに矢田市長と協議し、赤羽一嘉衆議院議員、赤松正雄衆議院議員とともに対策要望を受

要請した。同席した赤羽衆議院議員は、「この要望を政府、与党関係者に早速伝えるとともに、党としても全力をあげて対策を支援したい」と述べました。

けました。この時点で、検査キットや感染防御のための資器材が不足しており、また疫学調査のスタッフも不足していることから、至急国から支援してほしいというものが中心でした。

### 神戸市老人福祉施設連盟 などから要望を受ける



要望を受ける市議員と赤羽衆議院議員

老人ホームや老人保健施設及びしよがいがい者施設の各代表から、インフルエンザ感染拡大防止のための休業で被った被害を補償する制度の創設を求める要望を受けました。また、介護保険や自律支援法の弾力的な運用も認めてほしいとの要望を受け、同席した赤羽衆議院議員は、「制度を創設しなければ今後のインフルエンザ対策がスムーズに行かない恐れがあり全力を上げると答えました。

### 与党新型インフルエンザ対策プロジェクトチーム 有馬温泉・三宮センター街等を視察!

5月29日、公明党・自由民主党神戸市会議員団の要請により、与党新型インフルエンザ対策プロジェクトチーム(以下PT)座長の川崎二郎元厚生労働大臣、副座長の坂口力元厚生労働大臣等が神戸市内に入り、新型インフルエンザの風評被害により観光客や買い物客が激減した有馬温泉や三宮の繁華街を視察し、現地の要望を受けました。これには、PTのメンバーである公明党の赤羽一嘉衆議院議員や自由民主党の盛山正仁衆議院議員等も同行しました。



三宮センター街を視察する坂口党副代表(前列左)と赤羽衆議院議員(その右)

有馬温泉では、有馬温泉観光協会の當谷正幸会長から「国内初感染が確認されてから、多数のキャンセルが相次ぎ、5億円規模の損害を蒙り、早急に国の支援をお願いしたい」との訴えとともに、PTに具体的な要望書が提出されました。

三宮センター街では神戸市商店街連合会の三條正豊会長からPTに要望書が手渡され、風評被害防止や金融面での支援の要望がありました。

続いて神戸市地域医療推進協議会や運輸関係団体からも要望を受け、全力で支援することを約束しました。

さらに井戸敏三兵庫県知事、矢田立郎神戸市長、水越浩士神戸商工会議所会頭等と懇談し、席上、水越会頭から「観光客が激減し観光への影響が大きく、ぜひ支援をお願いしたい」と要望書の提出がありました。